
社会科学を踏まえた 土木計画学の新しいかたち

東京工業大学 藤井 聡

「土木」とは何か？

土木とは、我々の社会に存在する様々な土木施設を「整備」し、そしてそれを「運用」していくことを通じて、我々の社会をより良い社会へと少しずつ改善していこうとする社会的な営みを意味する。

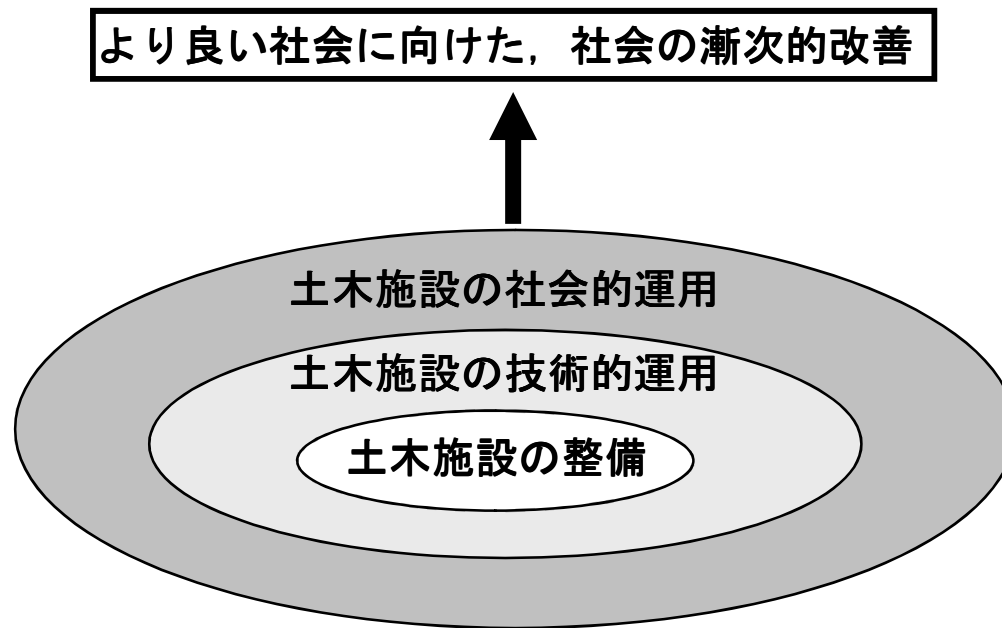


図 土木という「社会的営為」 (『土木計画学～公共選択の社会科学～』
(藤井, 2008)より)

「土木計画」とは何か？

土木とは、我々の社会に存在する様々な土木施設を「整備」し、そしてそれを「運用」していくことを通じて、我々の社会をより良い社会へと少しずつ改善していこうとする社会的な営み **の方法手順を考え企てること、またその内容。**

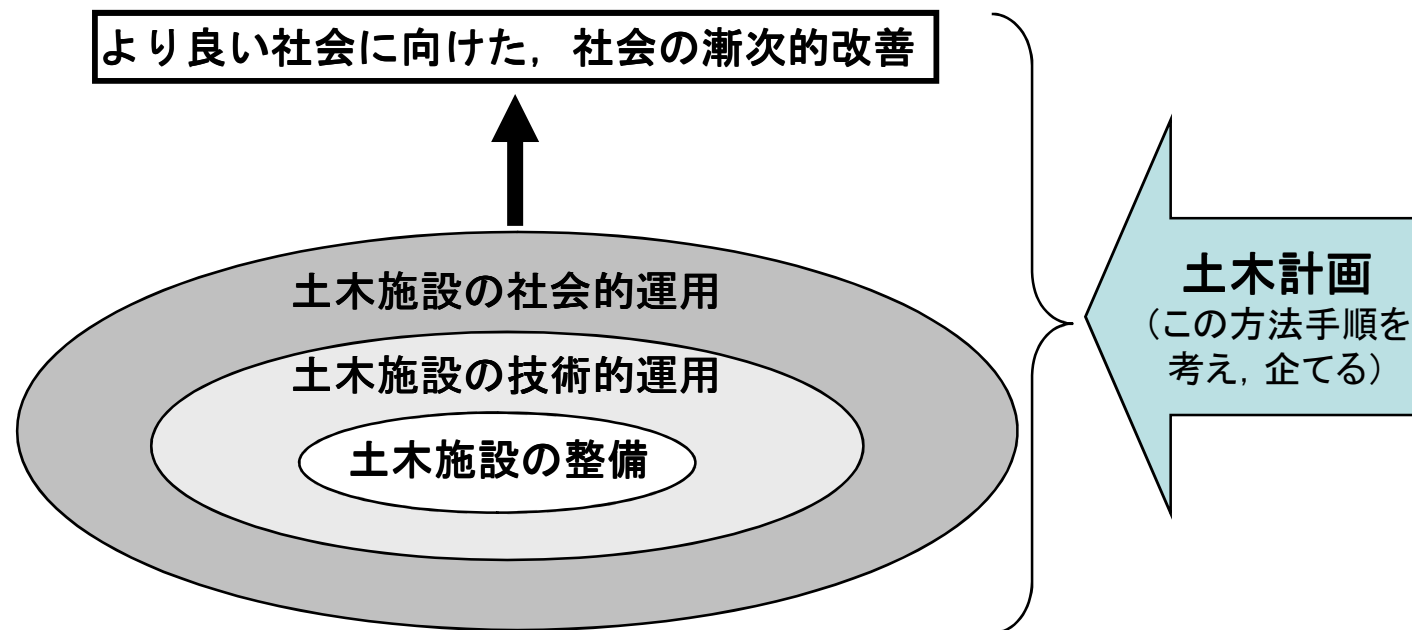


図 土木という「社会的営為」 (『土木計画学～公共選択の社会科学～』
(藤井, 2008)より)

「土木計画学」とは何か？

土木とは、我々の社会に存在する様々な土木施設を「整備」し、そしてそれを「運用」していくことを通じて、我々の社会をより良い社会へと少しずつ改善していこうとする社会的な営みの方法手順を考え企てることに資する学問体系。

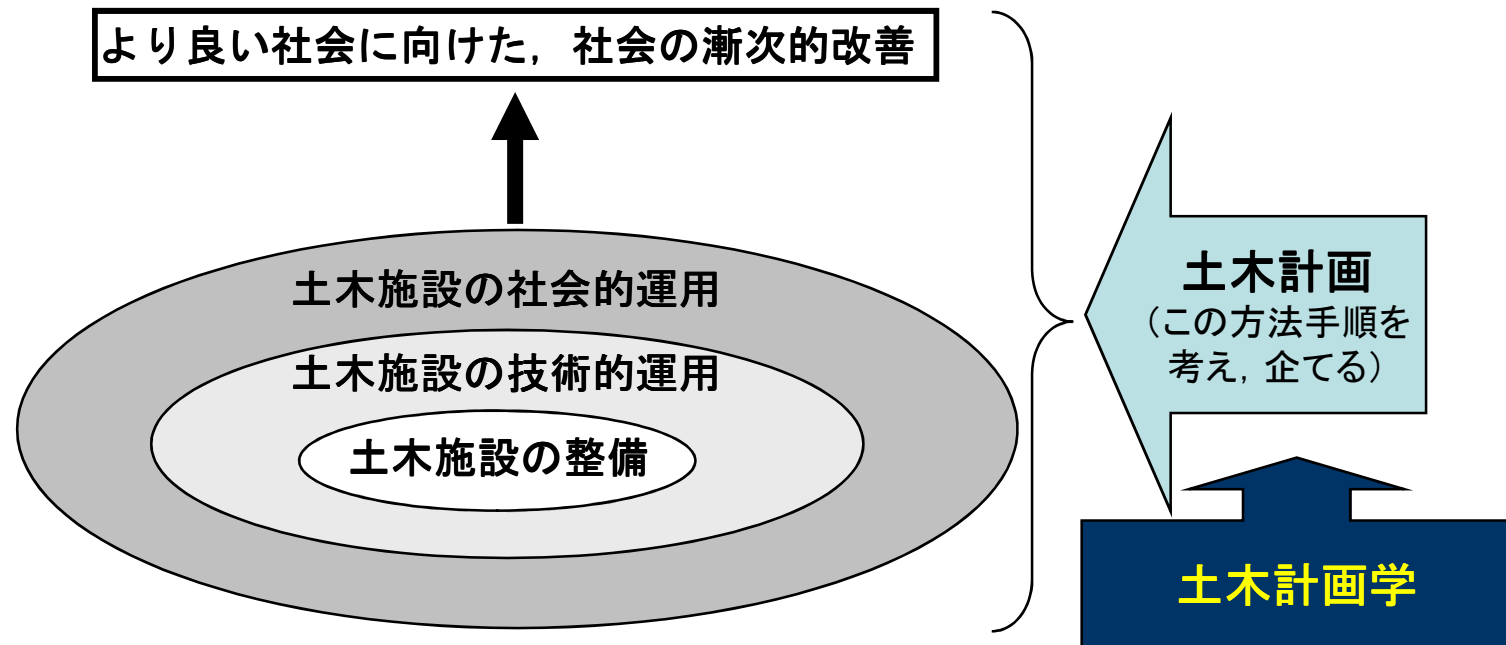
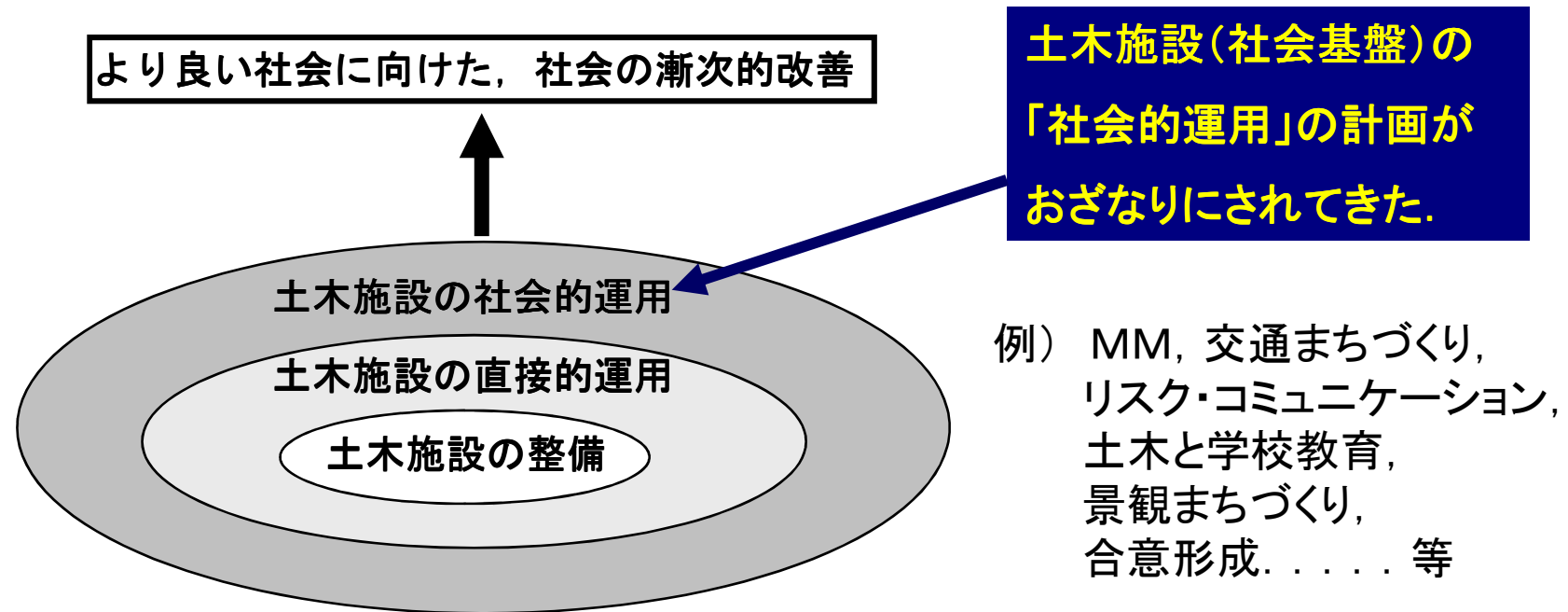


図 土木という「社会的営為」 (『土木計画学～公共選択の社会科学～』
(藤井, 2008)より)

「土木計画学の 課題」は何か？

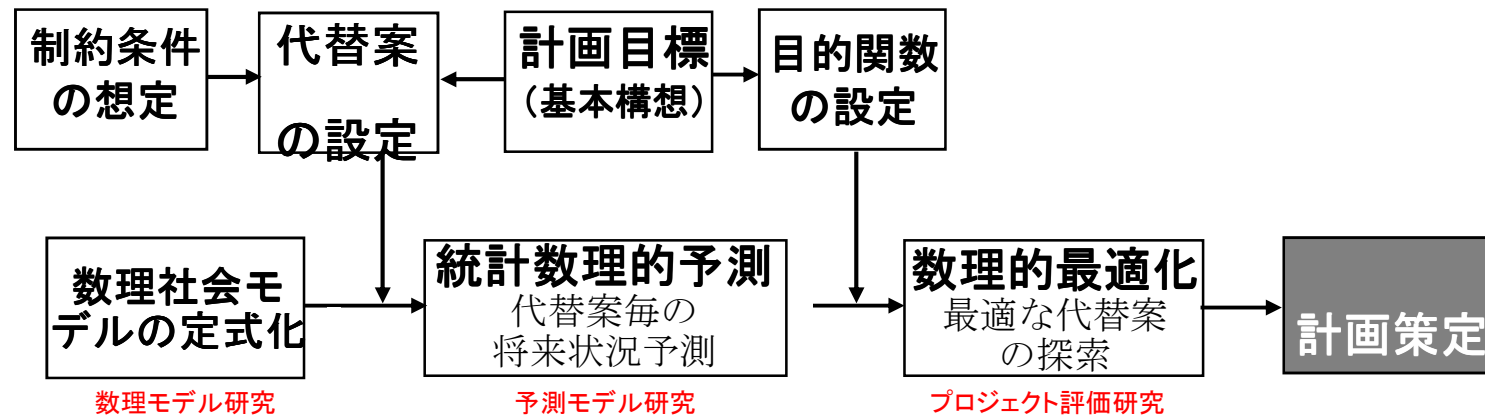


これらの社会的運用は、いずれも、「人と社会」を中心としたもの。

→土木計画学には**多様な社会科学が不可欠**！

(経済学, 心理学, 政治学, 社会学, 法学, 哲学....)

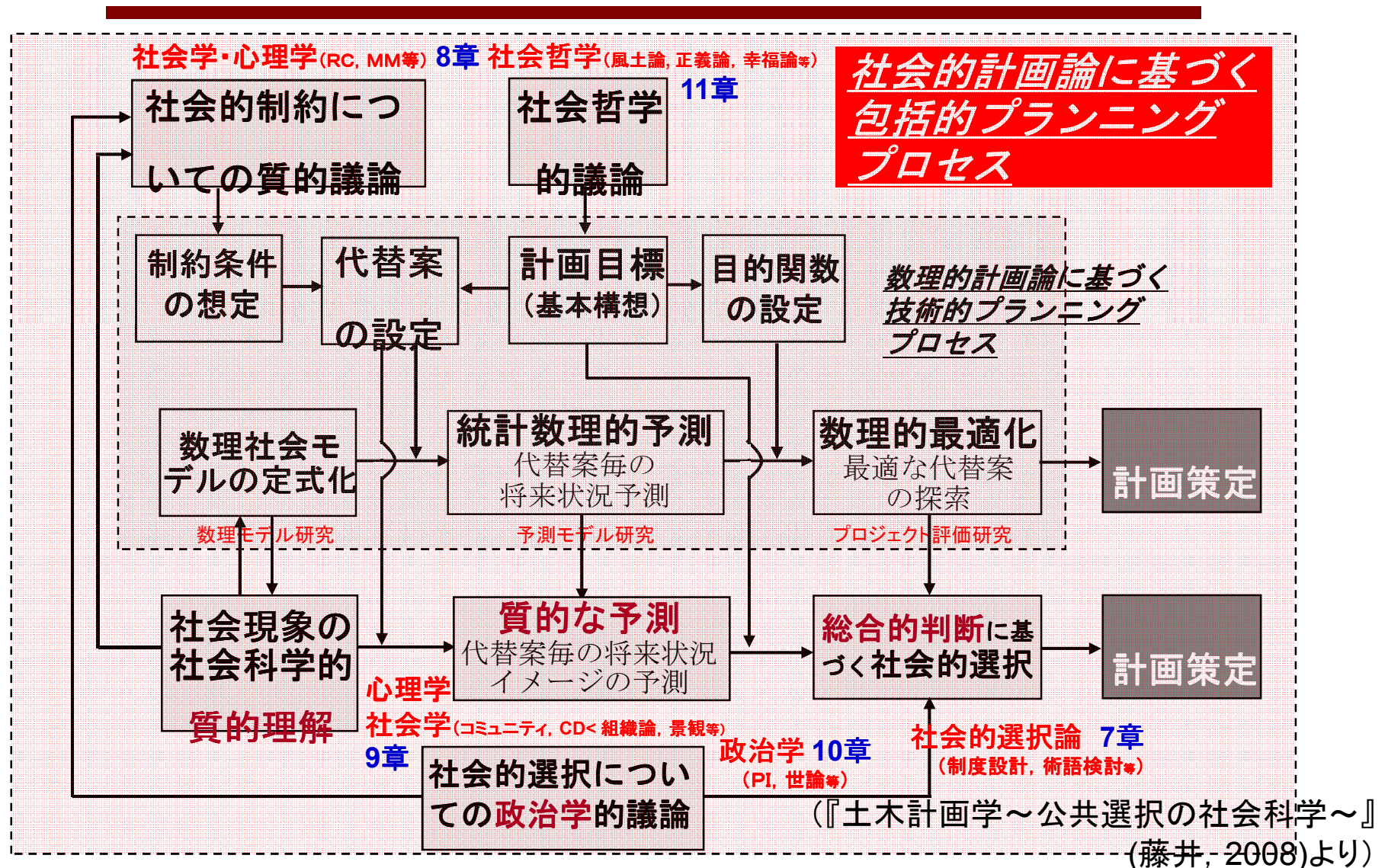
一般的な土木計画学が暗黙に想定する 計画策定プロセス



(『土木計画学～公共選択の社会科学～』
(藤井, 2008)より)

ただし,
実社会での計画策定プロセスは....

(一つの可能な) 新しい土木計画学のかたち



おわりに

- ・土木計画学は、**社会の漸次的改善**を志す「土木計画」に資するべきものである。
- ・「土木計画」は極めて**社会的な営為**である（人間・まち・社会・政治etc...）。
- ・したがって、土木計画学は、
 - 「量的な合理性」を**考える**「**数理的計画論**」に加えて、
 - 「質的な望ましさ」を**考え・実践する**「**社会的計画論**」の双方を（例えば、前ページの様に....）**有機的に統合**したものでなければならない。

土木計画学を志す**全ての**学徒に、
そうしたバランスある知識と**精神**の双方を
身につけてもらいたいと願う。

ありがとうございました.

